

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 憩いの家

目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 01 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	市町村との連携	行政窓口に出向いて相談や報告等、その都度行っているが、行政と協働で地域福祉に関する事業等を考えていきたい。	公民館や市民福祉センター等、地域の活動拠点で、介護に関する相談事業や、電話による相談等、地域の高齢化に対応した、活動をしていく。	12ヶ月
2	7	運営に関する利用者、家族等意見の反映関する	家族来訪や行事参加時等に、出来るだけ家族と話し合い、利用者の状態や日々の暮らしの状態を説明している。今後は家族の心配事等にも耳を傾けていく。	家族と連絡するためのホーム便りの発行や、意見箱の設置等、今以上に利用者や家族が、自由に意見を言い出せる環境をつくっていく。	12ヶ月
3		利用者一人ひとりに、満足のいく、公平なサービスの提供を検討していく。	介助に時間がかかる利用者、手のかからない利用者も、職員から同じようにサービスの提供をしていく。	職員3人体制で、いかなる場合でも、利用者や家族から、満足してもらい介護サービスの提供を目指すための職員一人ひとりの、技術力の向上をめざしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。